



2021年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社ブレイド

上場取引所 東

コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 倉橋 健太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO

(氏名) 武藤 健太郎

TEL 050-5434-8563

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の業績(2020年10月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	1,209		12		161		232	
2020年9月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	6.52	
2020年9月期第1四半期		

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	5,103		3,624			71.0
2020年9月期	3,068		1,604			52.3

(参考)自己資本 2021年9月期第1四半期 3,624百万円 2020年9月期 1,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,211	30.0	25		235		238		6.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期1Q	36,945,900 株	2020年9月期	35,408,900 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年9月期1Q	株	2020年9月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期1Q	35,675,389 株	2020年9月期1Q	株
------------	--------------	------------	---

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当社のSaaS事業が属するデジタル・マーケティング・サービス市場におきましては、引き続き成長を続けております。その一方で、マーケティングの業界においては、各企業で様々なマーケティングツールを導入することにより、結果として「顧客体験の分断」を生み出し、消費者として「どういった体験がうれしいか」という顧客目線に立って体験を考えることが困難になるという課題に直面していると捉えております。この課題は、顧客の存在をデータや数字の塊としてしか認識できない企業環境によって加速しているのが現状であります。

当社の提供する「KARTE」においては、定量面・定性面を含めて多面的に「一人ひとりの顧客がわかる」機能、分析や施策アクション機能の強化を継続的に実施しており、デジタル・マーケティング・サービス領域だけでなく、カスタマーサポート領域、営業領域など、あらゆる部署を顧客目線へと導くことのできるプロダクトとして様々な部署で活用いただいております、当社サービスの利用企業の業界も広がっております。

当第1四半期累計期間においては、継続的な新規顧客獲得のための施策に加え、特に既存顧客に対するサポートの強化やオプション商品の販売促進を図りました。

この結果、当第1四半期会計期間の末日におけるARR（注1）は4,773,065千円、サブスクリプション売上高比率（注2）は96.2%、契約件数（注3）は744件、契約単価（注4）は534千円、顧客社数は500社、顧客単価（注5）は795千円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,209,630千円、営業利益は12,751千円となりました。一方で、東京証券取引所マザーズへの上場のための一時的な費用として上場関連費用を計上したことにより、経常損失は161,196千円となりました。また、主に特別損失として投資有価証券評価損を計上したことにより、四半期純損失は232,429千円となりました。

なお、当社はSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. ARR: Annual Recurring Revenueの略称。各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。
2. 売上高のうち、経常的に得られるKARTEの月額利用料の合計額が占める割合を指します。
 3. 当四半期会計期間の末日における導入ウェブサイト及びスマートフォンアプリ数の合計を指します。
 4. 各期末時点の月次サブスクリプション売上高を同時点の契約件数で除して算出しております。
 5. 各期末時点の月次サブスクリプション売上高を同時点の顧客社数で除して算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は4,749,647千円となり、前事業年度末に比べ2,107,286千円増加いたしました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行により、現金及び預金が2,079,198千円増加したことによるものであります。固定資産は354,234千円となり、前事業年度末に比べ72,397千円減少いたしました。これは主に投資有価証券評価損を計上したことにより、投資その他の資産が70,283千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,103,882千円となり、前事業年度末に比べ2,034,889千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,176,882千円となり、前事業年度末に比べ92,023千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加49,980千円及び未払金の増加11,853千円によるものであります。固定負債は302,280千円となり、前事業年度末に比べ77,760千円減少いたしました。これは長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は1,479,162千円となり、前事業年度末に比べ14,263千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は3,624,719千円となり、前事業年度末に比べ2,020,625千円増加いたしました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126,280千円増加した一方で、四半期純損失232,429千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.0%（前事業年度末は52.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,698	4,170,896
受取手形及び売掛金	475,149	506,447
その他	77,015	73,805
貸倒引当金	△1,501	△1,501
流動資産合計	2,642,361	4,749,647
固定資産		
有形固定資産	36,761	34,647
投資その他の資産	389,870	319,587
固定資産合計	426,631	354,234
資産合計	3,068,993	5,103,882
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	317,720	367,700
未払金	424,028	435,881
受注損失引当金	2,634	1,431
その他	140,476	171,869
流動負債合計	1,084,858	1,176,882
固定負債		
長期借入金	380,040	302,280
固定負債合計	380,040	302,280
負債合計	1,464,898	1,479,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,321	2,087,849
資本剰余金	2,921,324	4,047,851
利益剰余金	△2,278,551	△2,510,981
株主資本合計	1,604,094	3,624,719
純資産合計	1,604,094	3,624,719
負債純資産合計	3,068,993	5,103,882

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,209,630
売上原価	348,436
売上総利益	861,194
販売費及び一般管理費	848,443
営業利益	12,751
営業外収益	
助成金収入	424
固定資産売却益	582
その他	62
営業外収益合計	1,069
営業外費用	
支払利息	3,921
上場関連費用	170,994
その他	100
営業外費用合計	175,016
経常損失(△)	△161,196
特別損失	
投資有価証券評価損	70,283
特別損失合計	70,283
税引前四半期純損失(△)	△231,479
法人税、住民税及び事業税	950
法人税等合計	950
四半期純損失(△)	△232,429

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126,280千円増加しました。また、当第1四半期累計期間において新株予約権の行使が行われ、資本金及び資本準備金がそれぞれ247千円増加しております。この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が2,087,849千円、資本剰余金が4,047,851千円となっております。